

製品名: c-Kit (リン酸化Tyr721) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04464**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	110kDa

抗原情報

遺伝子名	KIT
別名	KIT; SCFR; Mast/stem cell growth factor receptor Kit; SCFR; Piebald trait protein; PBT; Proto-oncogene c-Kit; Tyrosine-protein kinase Kit; p145 c-kit; v-kit Hardy-Zuckerman 4 feline sarcoma viral oncogene homolog; CD antigen CD117
遺伝子 ID	3815.0
SwissProt ID	P10721
免疫原	抗血清は、ヒト c-Kit の Tyr721 のリン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 688-737

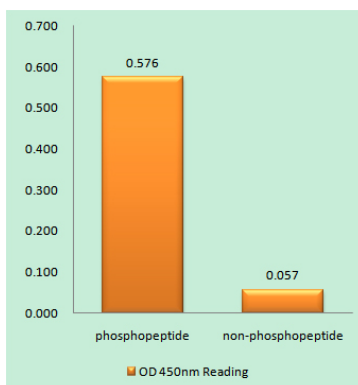
背景

この遺伝子は、プロトオンコジーン c-kit のヒトホモログをコードしています。c-kit は、ネコ肉腫ウイルスのオンコジーン v-kit の細胞ホモログとして初めて同定されました。このタンパク質は、MGF (マスト細胞増殖因子、幹細胞因子とも呼ばれる) の 3 型膜貫通型受容体です。この遺伝子の変異は、消化管間質腫瘍、マスト細胞疾患、急性骨髄性白血病、および白斑症と関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: $ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸$ 。疾患: KIT の欠陥は、消化管間質腫瘍 (GIST) [MIM:606764]の原因です。疾患: KIT の欠陥は、まだら症[MIM:172800]の原因です。まだら症は、メラノサイトを欠いた白い皮膚と髪の先天的な斑点を特徴とする、常染色体優性の遺伝性色素発達異常です。疾患: KIT の欠陥は、精巣腫瘍[MIM:273300]と関連付けられています。これには、胚細胞腫瘍 (GCT) または精巣胚細胞腫瘍 (TGCT) が含まれます。機能: これは、幹細胞因子 (肥満細胞増殖因子) の受容体です。チロシンタンパク質キナーゼ活性を有する。リガンドの結合により KIT は自己リン酸化され、ホスファチジルイノシトール 3 キナーゼ (Pi3K) などの基質と会合する。オンライン情報: CD117 エントリ,類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。チロシンキナーゼファミリー。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。チロシンキナーゼファミリー。CSF-1/PDGF 受容体サブファミリー。類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含む。類似性: 5 つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含む。サブユニット: APS と相互作用する。MPDZ と相互作用する (10 番目の PDZ ドメインを介して)。PTPRU と相互作用する。

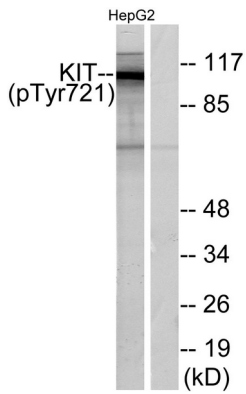
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用、エンドサイトーシス、造血細胞系統、メラニン形成、癌における経路、急性骨髄性白血病、

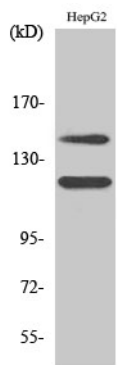
画像データ



c-Kit (リン酸化 Tyr721) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



EGF 200 ng/ml 30 μ l 処理した HepG2 細胞ライセートの c-Kit (リン酸化 Tyr721) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



Phospho-c-Kit (Y721) ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析